

平成25年度第1回由布市子ども・子育て会議会議録

1 開催日時

平成25年10月3日木曜日 午後2時から午後4時

2 開催場所

由布市役所 庄内庁舎保健センター1階 診察室

3 出席者

- (1) 委員 14名 (6名欠席)
- (2) 事務局 3名

4 議事等

- 1. 子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画について
- 2. 講話『子ども・子育て支援』について
- 3. ニーズ調査について

5 議事等（要旨）

午後2時、定刻になり開会

- (1) 子ども・子育て会議及び子ども・子育て支援事業計画について
…… 事務局による資料の説明 ……
- (2) 講話『子ども・子育て支援』について
宮田保育園園長による講話及び意見
 - ・平成24年8月民主党政権時の総合こども園構想から自公民の政策協議により結果、子ども・子育て関連三法が成立し、認定こども園・幼稚園・保育園が既存の形で認められる仕組みが容認された。
 - ・現在、国の子ども・子育て会議で基本指針がほぼ示された。
 - ・認定こども園→入所者と直接契約、保育園→市町村が保育所へ委託、幼稚園→公立
 - ・私立幼稚園には私学助成金1人当たり月に15,000円の助成があった。
 - ・由布市の子育て支援施策は県内でもレベルが高い。1位豊後高田市
 - ・保育園・幼稚園・小学校の連携が必要→小1プロブレム
 - ・子ども・子育て会議の役割→保護者の声を反映し子育てしやすい由布市へ→そのことにより人口が増えることを期待。
 - ・幼保連携型認定こども園→保育に欠ける児童だけでなく、3歳以上のすべての子どもが利用できる。3歳未満の子どもたちが利用できる施設の充実が

必要。

- ・保育時間の設定（４時間・６時間・８時間）及び保護者の移動時間の価格設定（公定価格）→額の個人差有→今後の課題
- ・地域子ども・子育て支援事業（１３事業）の推進
- ・公立幼稚園と私立保育園の利用、保育料の検討

（３）ニーズ調査について

県版調査票（イメージ図）より就学前児童用と就学児童用の説明を事務局より説明後の意見

- ・ニーズ調査→わかりやすい調査票に、他市モデルを参照し市独自のものを作成してほしい。
 - ・ニーズ調査の集約を子育てを終了した市民、中学や由布高校の保護者に情報提供し、意見をいただき計画作成の参考資料にする。
- その他の意見として病児・病後児保育を由布市内で実施してほしい。又計画は立てるだけではなく、常に検証してもらいたい。

6 その他

事務局（子育て支援課）より、次回開催予定等を示した。その後閉会

お問い合わせ先

子育て支援課

0977-84-3111（内線301）